

令和4年度 市政アンケート調査 第4回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民682人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和4年4月7日から令和5年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・WEB】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第4回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和4年8月25日から9月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 677人
- (3) 回答者数
- 569人
- (4) 有効回答率
- 84.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「福岡市の広報活動」について
 - ②「住宅用火災警報器」について
 - ③「地域の活動やまちづくり」について
 - ④「選挙」について

3. 注意点

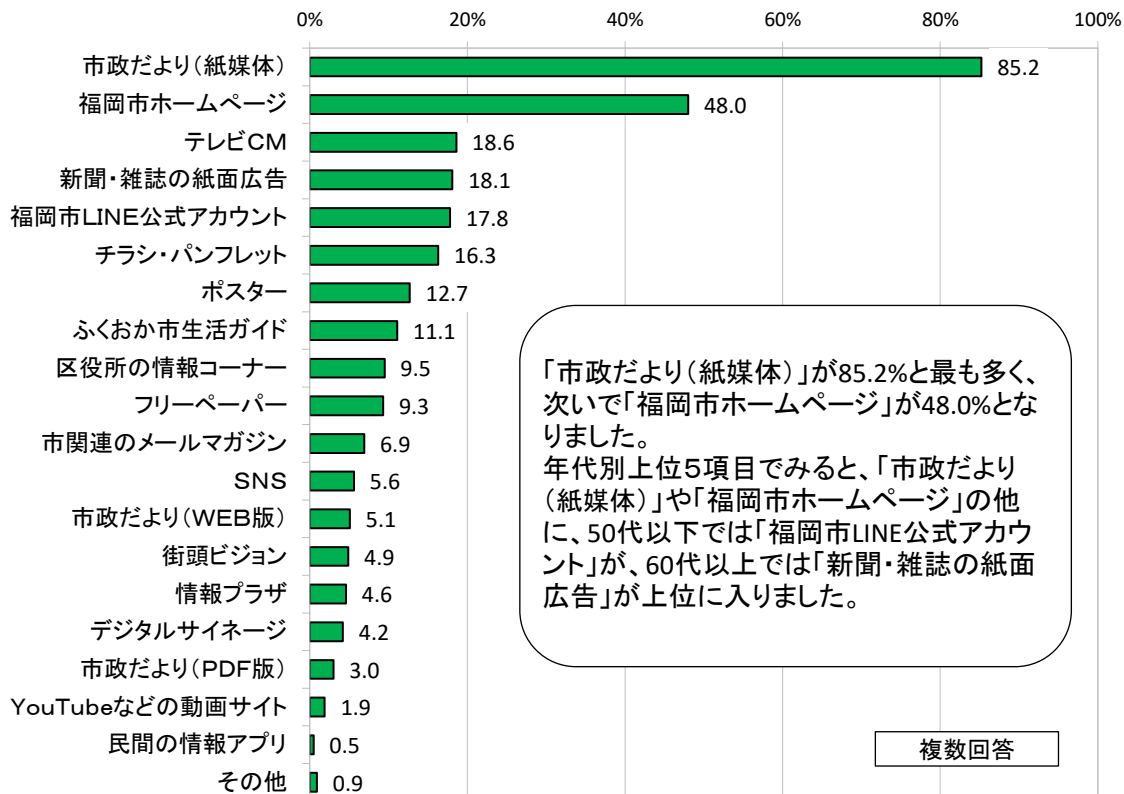
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「福岡市の広報活動」について(N=569)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの

例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

≪ 市政情報を得るために利用したことがある広報媒体 ≫

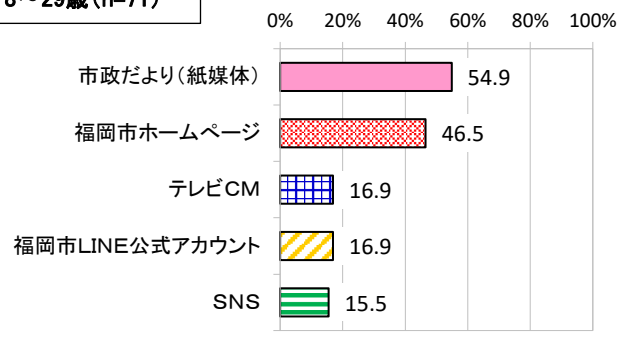


「市政だより(紙媒体)」が85.2%と最も多く、次いで「福岡市ホームページ」が48.0%となりました。
年代別上位5項目でみると、「市政だより(紙媒体)」や「福岡市ホームページ」の他に、50代以下では「福岡市LINE公式アカウント」が、60代以上では「新聞・雑誌の紙面広告」が上位に入りました。

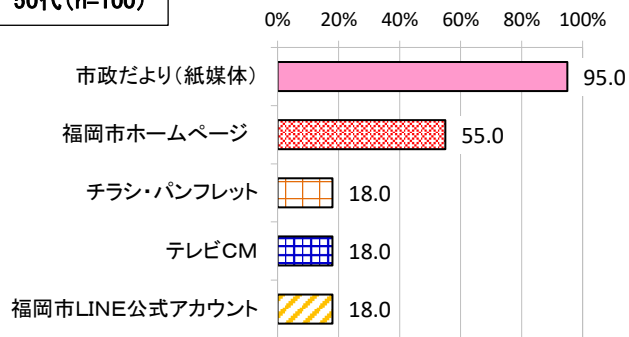
複数回答

◆年代別上位5項目

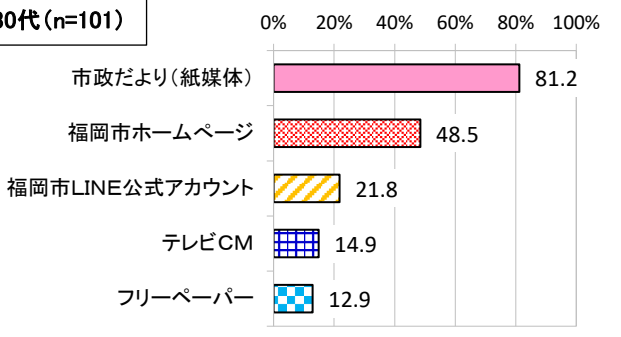
18~29歳 (n=71)



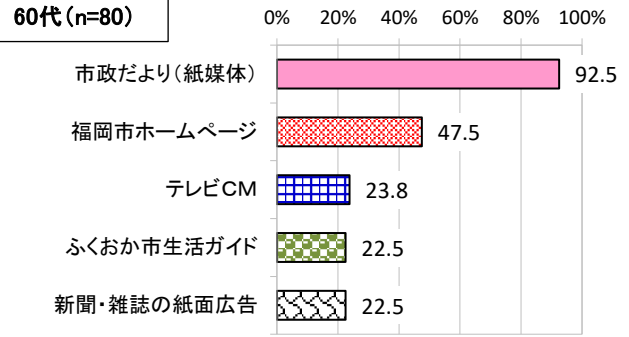
50代 (n=100)



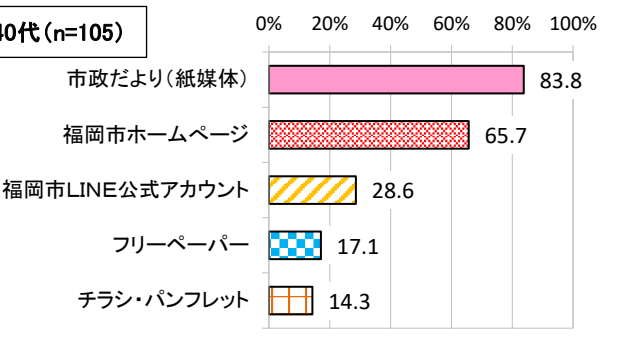
30代 (n=101)



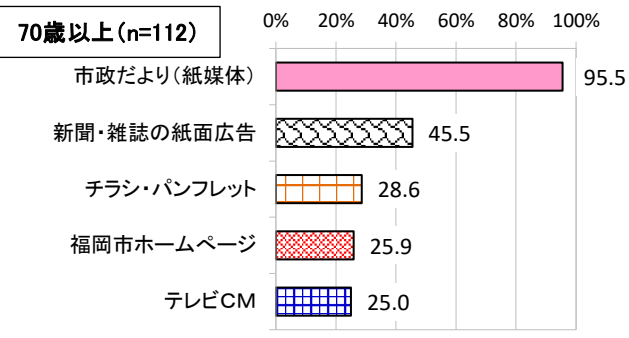
60代 (n=80)



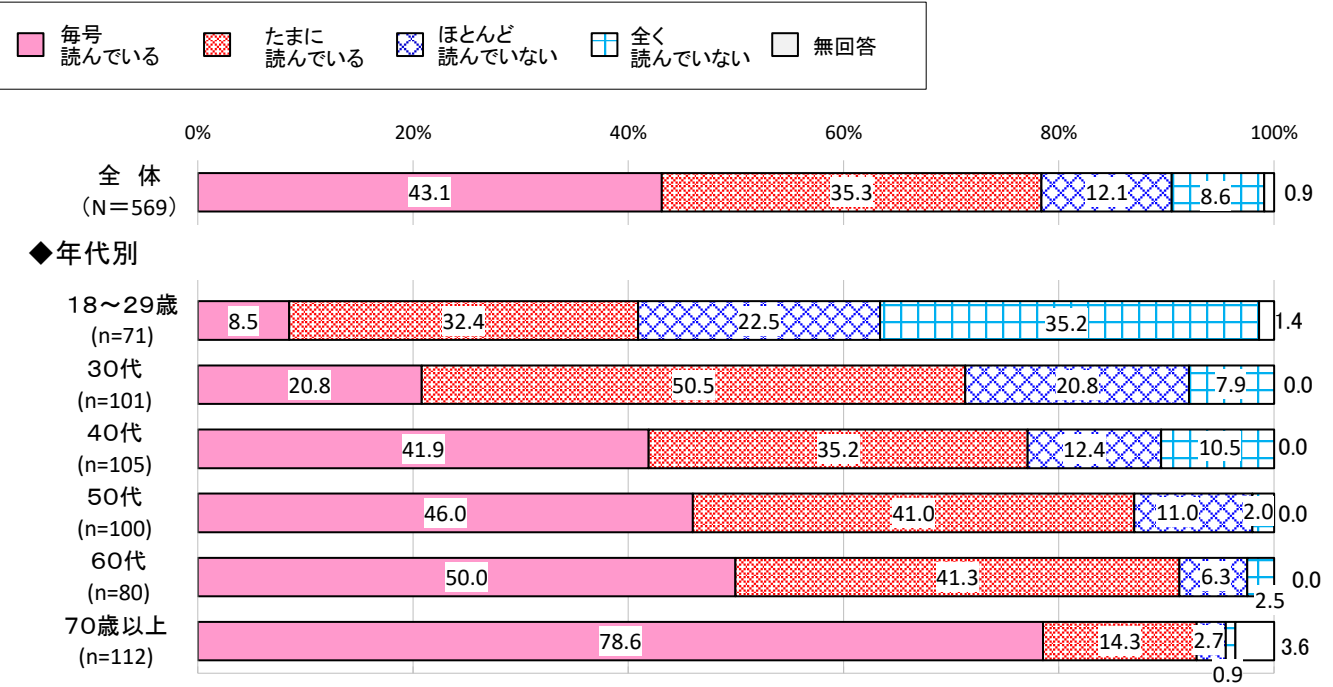
40代 (n=105)



70歳以上 (n=112)

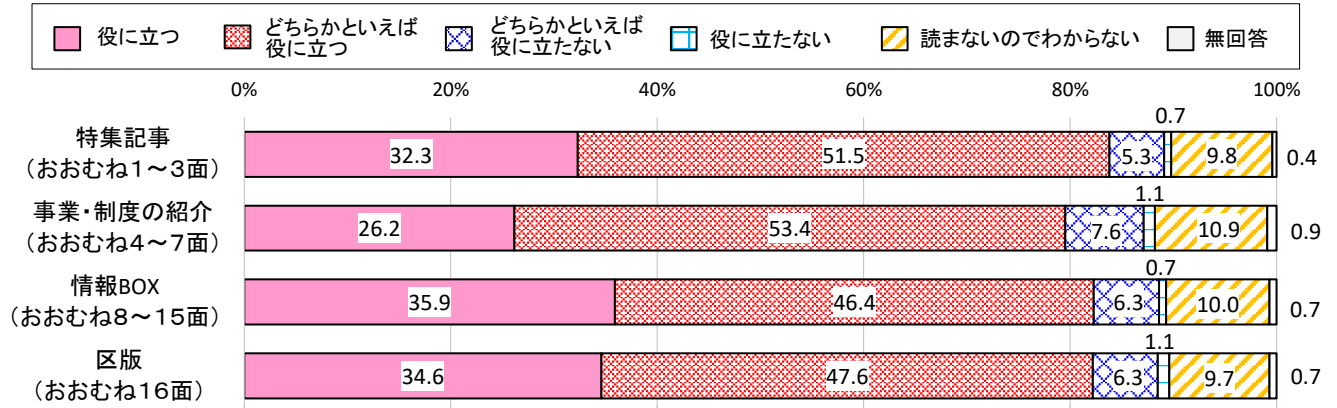


《 市政だより(紙媒体)を読む頻度 》



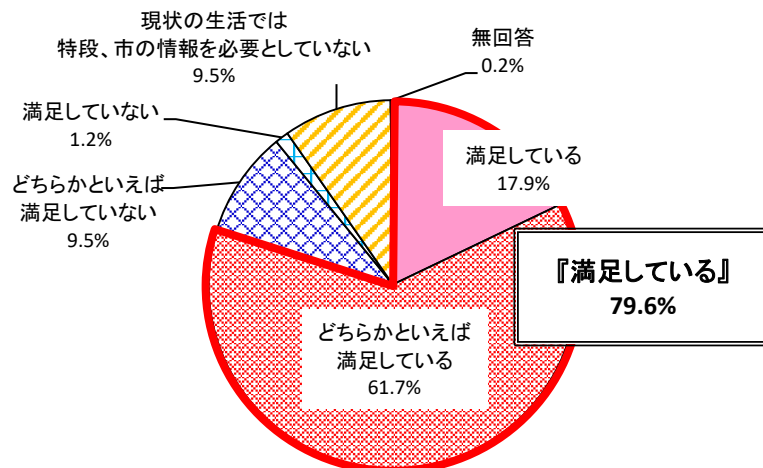
「毎号読んでいる」と回答した方は全体の43.1%となりました。年代別にみると、年代が上がるにつれて、「毎号読んでいる」と回答した方の割合が高くなっています。

《 市政だよりの各記事は役に立つか 》



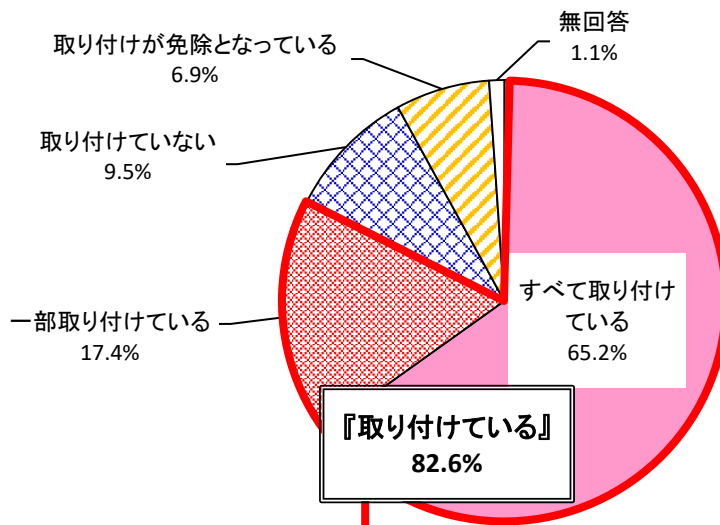
『役に立つ』と回答した方は「特集記事」で83.8%と最も多く、次いで、「情報BOX」で82.3%という結果になりました。

《 福岡市の情報発信に対する総合的な満足度 》

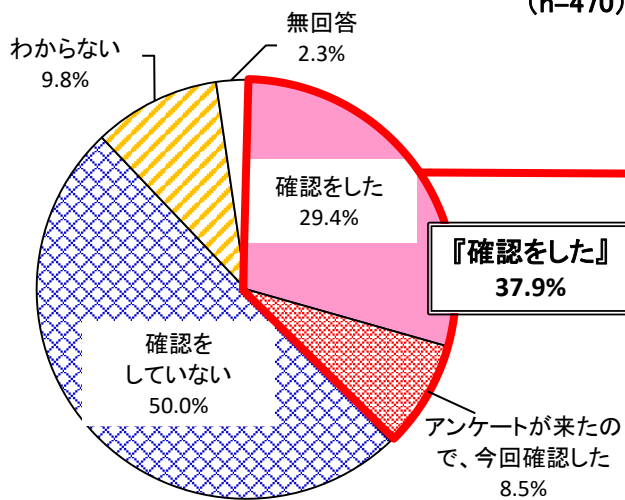


②「住宅用火災警報器」について(N=569)

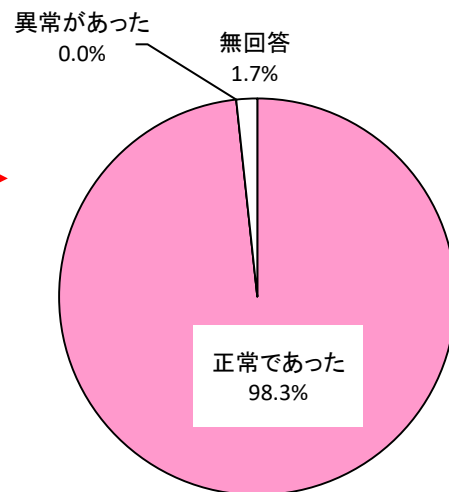
《住宅用火災警報器を条例で義務付けられている場所に取り付けているか》



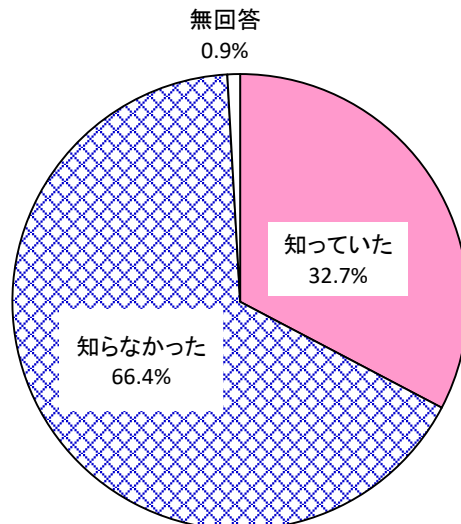
《半年以内に住宅用火災警報器の作動確認をしたか》 (n=470)



《作動確認の結果》 (n=178)

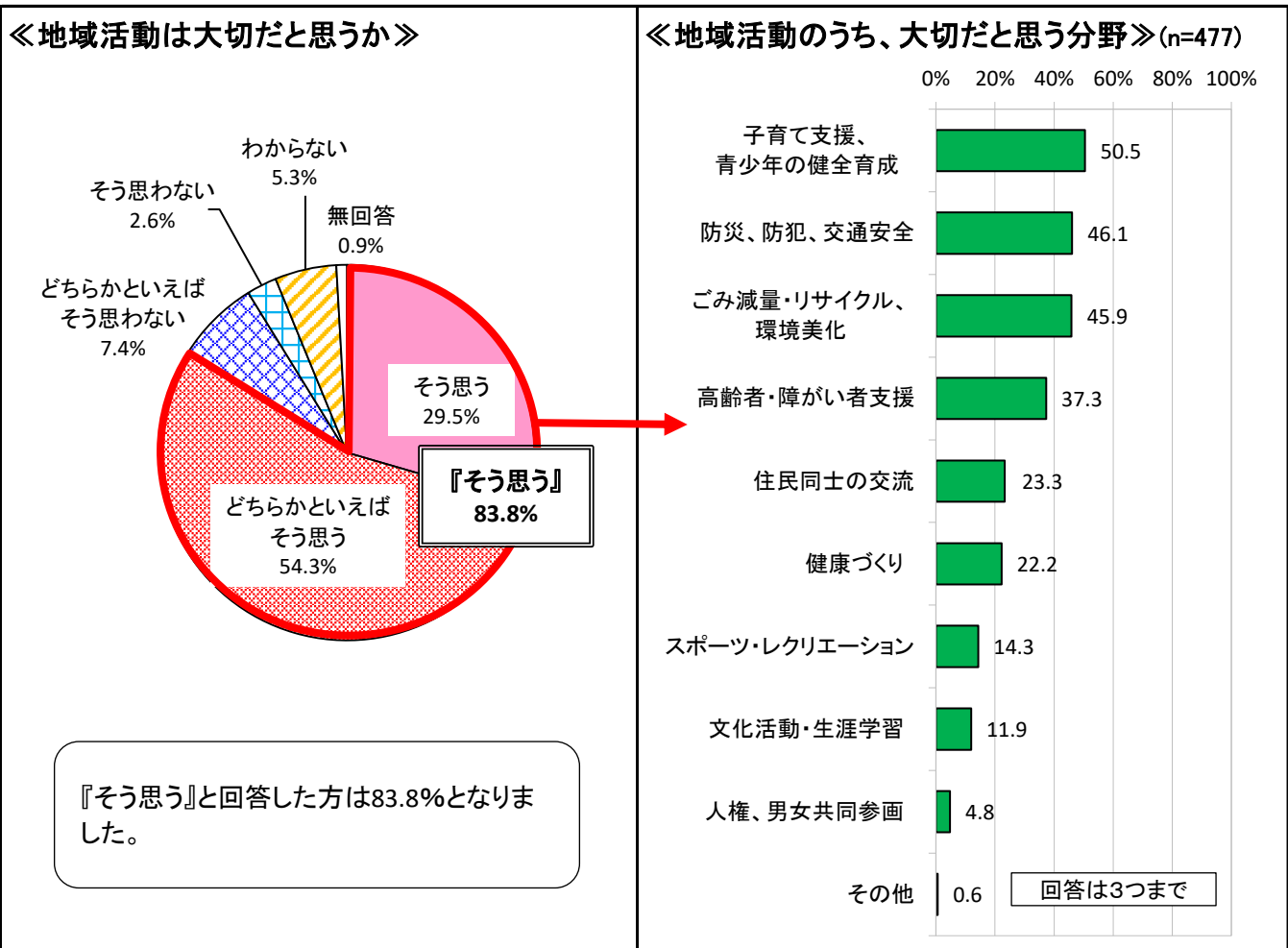
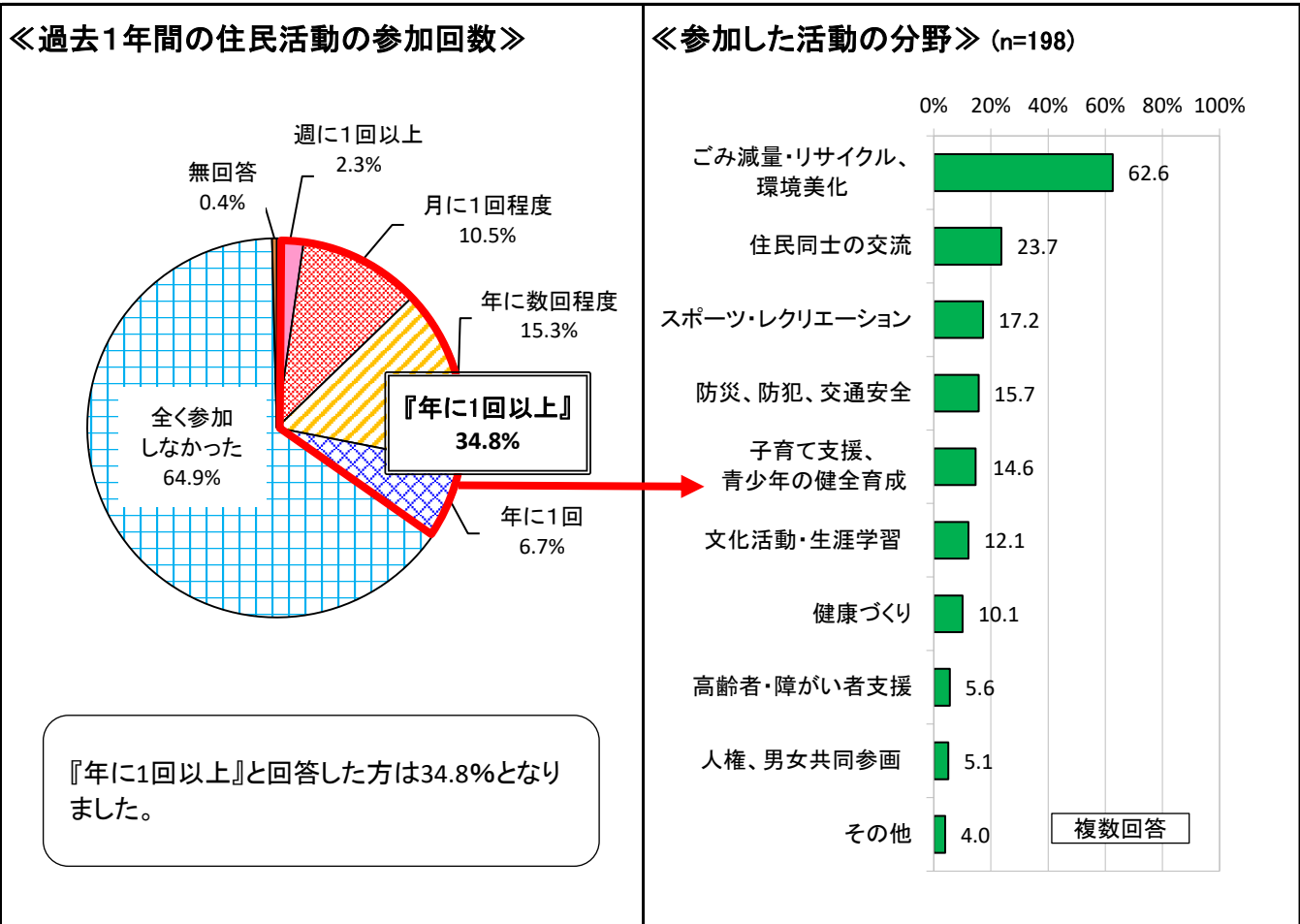


《住宅用火災警報器は設置から10年での交換が推奨されていることを知っていたか》

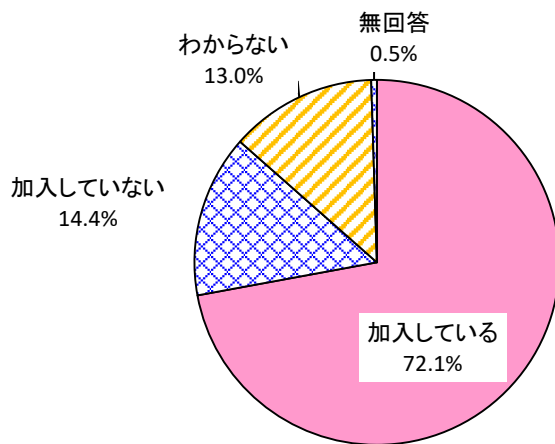


「知っていた」と回答した方は32.7%となりました。

③「地域の活動やまちづくり」について(N=569)

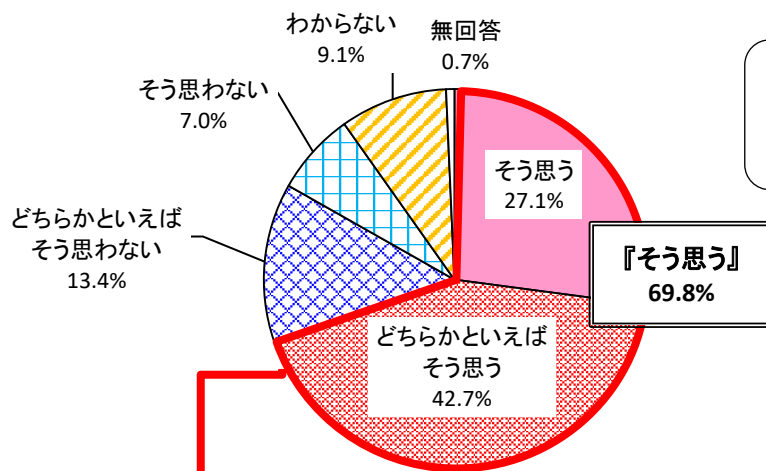


《自治会・町内会の加入状況》



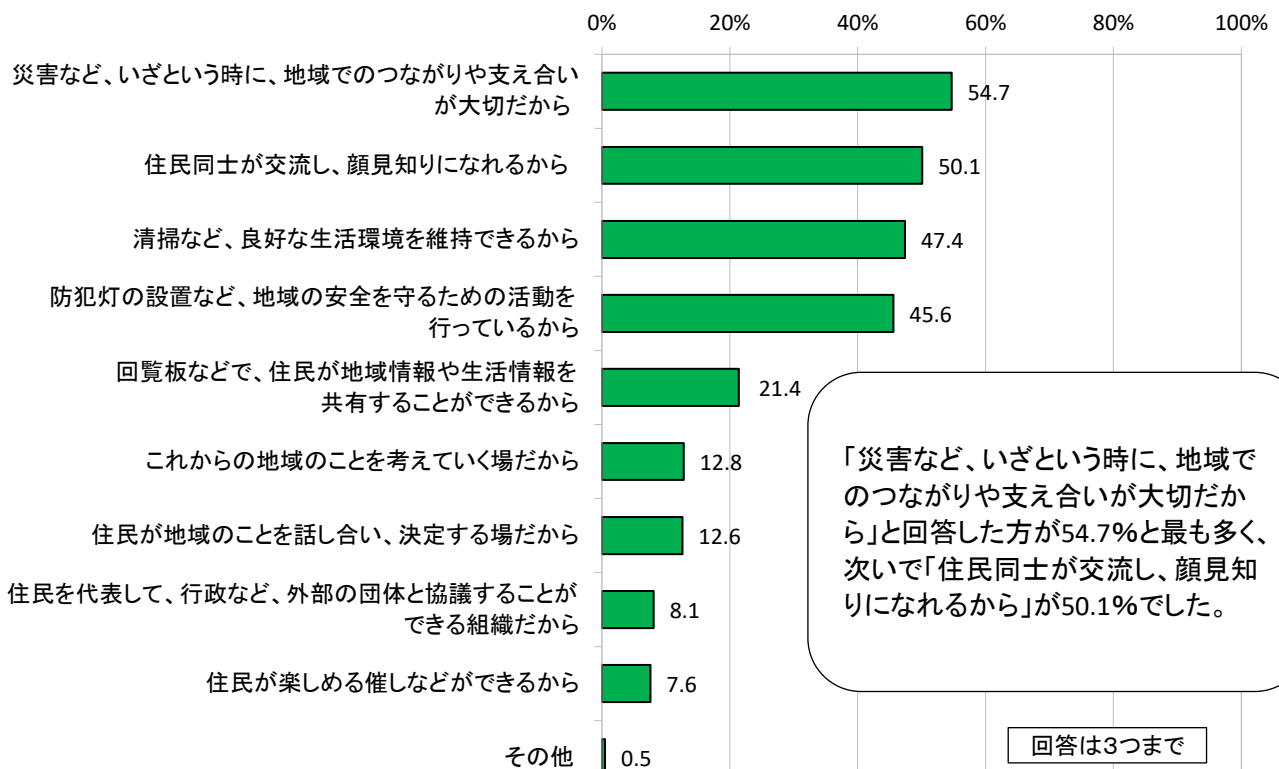
「加入している」と回答した方は72.1%となりました。

《自治会・町内会は必要だと思うか》



『そう思う』と回答した方は69.8%となりました。

《自治会・町内会が必要だと思う理由》 (n=397)

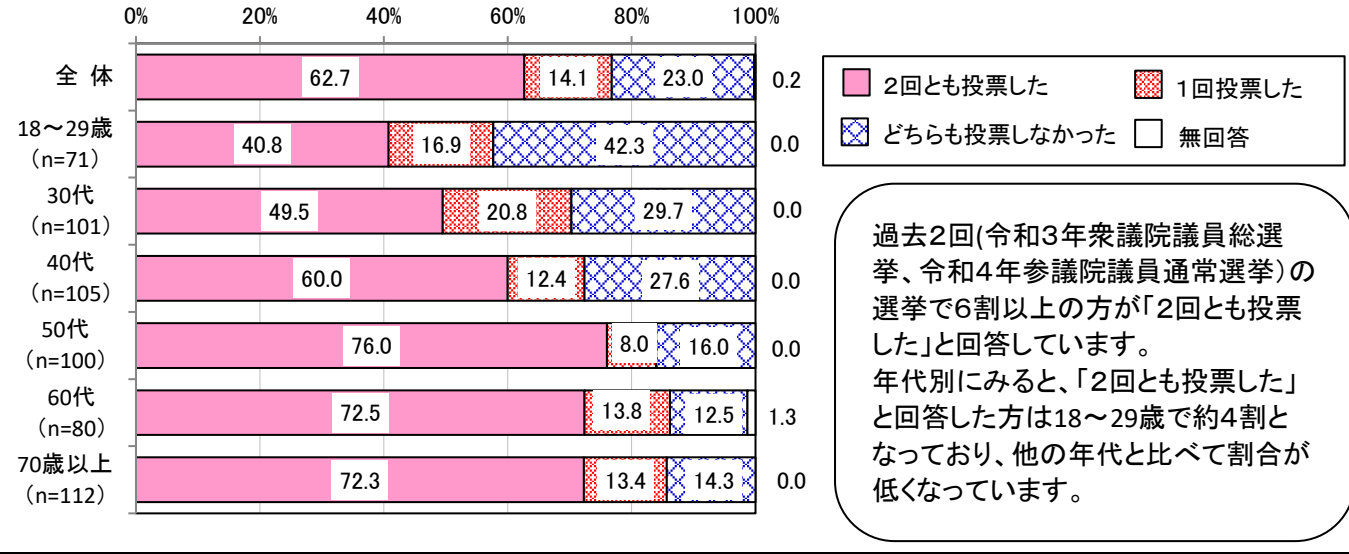


「災害など、いざという時に、地域でのつながりや支え合いが大切だから」と回答した方が54.7%と最も多く、次いで「住民同士が交流し、顔見知りになれるから」が50.1%でした。

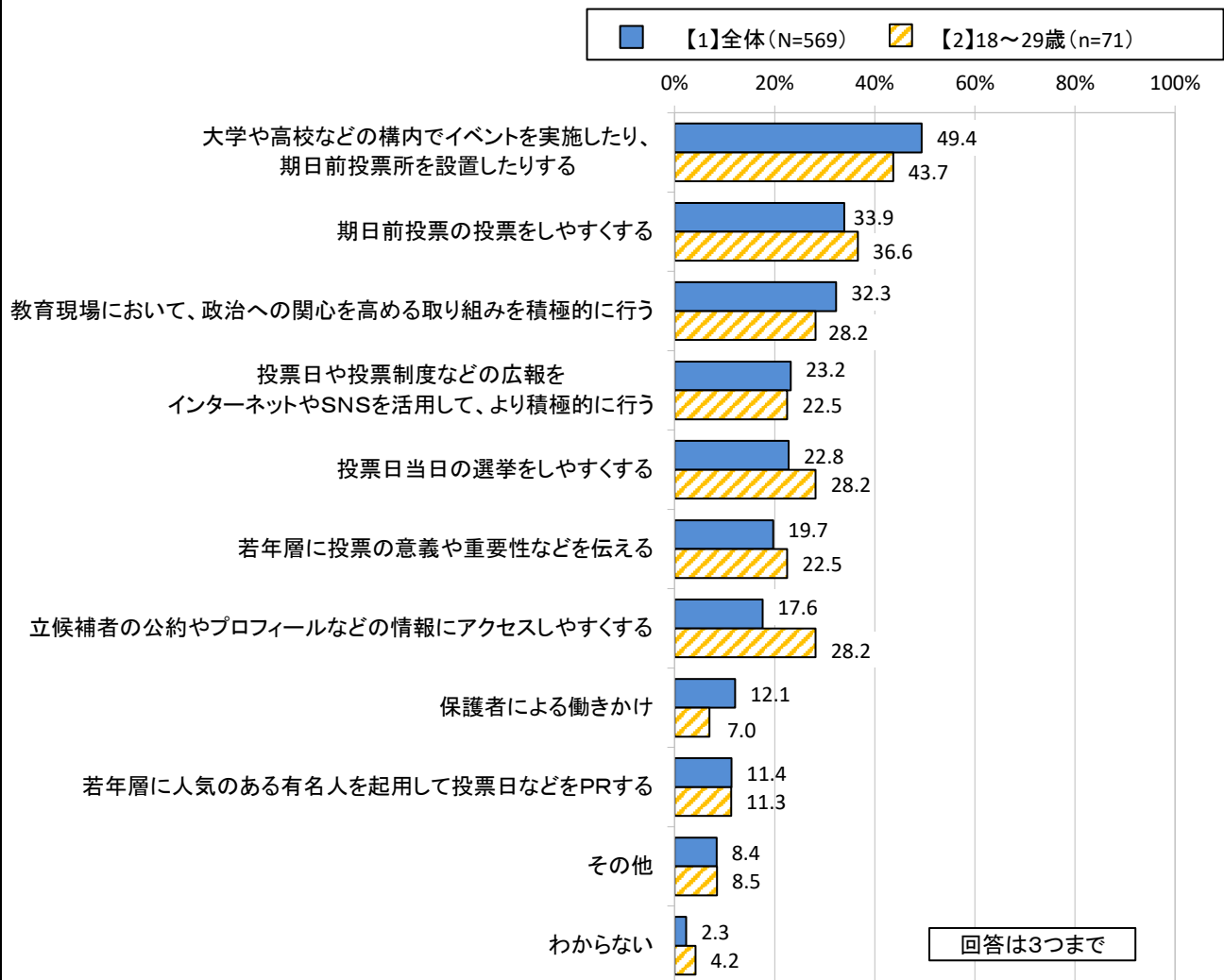
回答は3つまで

④「選挙」について(N=569)

《過去2回の選挙での投票状況》



《若年層の投票率を向上させるためにはどのようなことが必要か》



【1】「全体」、【2】「18～29歳」のいずれにおいても「大学や高校などの構内でイベントを実施したり、期日前投票所を設置したりする」と回答した方が最も多くなりました。項目別にみると、「立候補者の公約やプロフィールなどの情報にアクセスしやすくする」と回答した方は【2】28.2%が【1】17.6%よりも10.6ポイント高くなりました。